平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート** 作成日 平成 19 年 6 月 28 日作成

							11.7771		点検日 平成	19 年 7	<u>月 4 日作成</u>
:	事			集落排フ 里事業	水処理施設及び	バマンホールオ	ポンプ場維	□ マニフェスト	·関連	□ 全庁横	断課題関連
	ī	政策名		2 緑	豊かな環境と共	生するまちづ	くり 所	「属部 水道局		所属課 上下	水道課
施策名 計一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				所	「属係 管理工程	务班	課長名森	章礼			
基本事業名 体					担	当者名 坂井修		電話番号 096- (内線) 1176	-248-1232		
┃ ┃ ☆針┃ 玅 ┃ 佰 ┃ P┃車業┃									、水質汚濁防止法		
	事	業期間		年度のは		単年度繰返 □ 開始年		度 ~) ┗(見定複数年度→全 左 庶		_
			(具体的	内なやり	り方、手順、詳紙				年度 (全体計画(期	間限定複数年度のみ	<u>F度)</u> ○
(事業内容) 農業集落排水処理施設及びマンホールポンプ場の適正な維持管理運営である。 (業務内容)・消耗品、医薬材料、原材料、燃料の適宜購入事務 ・法廷検査対応事務 ・法廷検査対応事務 (①故障報告受付事務②現地調査(緊急であるかの判断)③補修工事契約事務④現地打合せ⑤竣工検査 事務⑥支払事務) (①現地調査②維持管理業系記事務 (①現地調査②維持管理業務設計書作成事務③維持管理業務契約事務④月毎の竣工検査事務⑥月毎の 支払事務) 1 現状把握の部(DO) (1)事務事業の目的と指標 ① 手段(主な活動) 農業集落排水処理施設・マンホールポンプ場の保守、点検の委託 農業集落排水処理施設・マンホールポンプ場の補修等 19年度計画(19年度に計画している主な活動)同 上 (⑤ 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 農業集落排水処理施設のでンホールポンプ場の補修等 (⑥ 対象指標(対象の大きさきまず指標)数字は記入しない 名称 (原文・気に使数) (原文・気にを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを											
② 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設が支障なく稼動できるようにする											
(2)	総	事業費・指標	票等の	推移	40年度	47.左座	40左座	ウ	00 F F	0.4 左座	- 00 左座
				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	業費人	国庫支 財源 地方 での 一般則 事業費計 正規職員従	^{支出金} 債 他 <u>才源</u> (A) 事人数	千円 千円 千円 千八	0	0	15,786 11,294 27,080 4	15,372 8,656 24,028	16,000 8,100 24,100 7	16,000 8,100 24,100	24,100
	件費	延べ業務 人件費計		時間 千円	0	0	500 1,985	560 2,223	560 2,223	560 2,223	560 2,223
Ľ	١-	ータルコスト(A		千円	0	0	29,065	26,251	26,323	26,323	26,323
	:	活動指標	<u>ア</u> イ	件			<u>5</u>				
	:	対象指標		箇所			2 8	<u>2</u> 8	2 8		2 2 8
		成果指標	ア イ ウ フ	件 %			100	100	100	100	100
	上	位成果指標	アイウ	%			100	100	100	100	100

合志市

①この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

旧西合志町での公共下水道区域及び特定環境保全公共下水道区域以外の地域で、農業集落排水事業計画により、平成10、11年に農業集落排水処理施設(蘇水苑・清流館)及びマンホールポンプ場が建設され、平成12年の供用開始により始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 供用開始より6年ほどしか経過していないため、開始当初に比べると軽微な補修が発生する程度でほとんど問題ない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

	•	・現在のところ、市民からの意見・要望・苦情はない。							
Ļ	_	□ (CCC) ** 原則は東後部	[[[]]]						
ľ		計画の部(SEE) * 原則は事後計 ①政策体系との整合性	『価、ただし複数年度事業は途中評価 □ 見直し余地がある ⇒【理由】 → ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映						
		この事務事業の目的は市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	■ 結びついている ⇒【理由】⑤施設が支障なく稼動でき、維持管理が円滑に進むことにより、市民の生活環境が保全され、又、放流水の水質が安定する。						
l	目								
É	钓	② 公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映□ 妥当である ⇒【理由】 →						
1	抨	なぜこの事業を市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達 成する目的か?	○浄化センター等の維持管理は、市民の生活環境の保全及び公共水域の水質保全につながるものであり、 その応分の使用料も賦課されているので、妥当である。						
1	西	③ 対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映						
			☑ 適切である ⇒【理由】 🕠						
		対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	◎対象は、浄化センター及びポンプ場であり、意図もこの施設が支障なく稼動できるようにするためのものであるため、適切である。						
L									
		④ 成果の向上余地	□ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 向上余地がない ⇒【理由】 →						
		成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準と の差異はないか?何が原因で成果 向上が期待できないのか?	◎トラブルの発生も無く、補修についても軽微なものなので円滑な維持管理が出来ているため、現在の状態を維持することに努める						
l,		⑤ 廃止・休止の成果への影響	▶響無 ⇒【理由】 → ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映▶ 影響有 ⇒【その内容】 →						
3		事務事業を廃止・休止した場合の影響の方無しるの内容はな	○本事業を停止・休止すれば、市民の生活環境や公共水域の水質に重大な影響を与える。						
	生評	響の有無とその内容は?							
1	西								
		⑥ 類似事業との統廃合・連携 の可能性	□ 他に手段がある 🗣 (具体的な手段, 事務事業)						
		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業	□ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映□ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ラ						
		との統廃合ができるか?類似事業と の連携を図ることにより、成果の向							
		上が期待できるか?	 ☑ 他に手段がない ⇒【理由】 <u>♪</u>						
ľ		⑦ 事業費の削減余地	 ☑ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 □ 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒ 						
		成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住 民の協力など)	□ 前級未起がない → 【理由】 ◆◎今後は指定管理者の導入を検討する。						
	効								
1	率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削							
i	抨	減余地 やり方をエキして延べ業務時間を削	■ 削減余地がない →【理由】 →◎維持管理については、現在、民間に委託しているが、処理場全体の運営について、指定管理者制度の導						
1	画	減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできな いか?(アウトソーシングなど)							
L		@ = V W A = # = # ! = # !							
	公亚	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映□ 公平・公正である ⇒【理由】 →						
	+	事業の内容が一部の受益者に偏っ	◎受益者より使用料を応分負担して頂いているので、適切である。						
i	評価	ていて不公平ではないか?受益者 負担が公平・公正になっているか?							

事務事業名	農業集落排水処理施ンプ場維持管理事業	設及びマンホールポ	所属部	水道局	所属	課 上下水道課
	と今後の方向性(次年度	ま計画と予算への反映				- \
(1) 1次評価者として	の評価結果		(2)	全体総括(振 ・指定管理者制		
① 目的妥当性	▶ 適切	□ 見直し余地あり				
② 有効性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	₽			
③ 効率性	□ 適切	☑ 見直し余地あり				
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり				
 廃止 休止 事業のやり方改善(可規状維持(従来通り ③現状のままで問題 		□ 事業統廃合・連携 業のやり方改善(公平性改 管理者制度の導入も材 関係を関係を表しています。 実質(壁)とその解決策	女善) 険討する	がある。		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 点 上 成 維 果 持 低 下 × ×
		だ段階で選択)				
□ 記述は十分 ②評価の客観性 □ 客観性を欠	「足のところがある ↑なされている 水準(2次評価を行った !いており評価が偏って !性を欠いたところがあ	いる(事務事業の問題		が認識されて	ない)	
□ 客観的な評(2) 2次評価者として	「価となっている(事務事 の証価結果	工業の問題点、課題が	認識され 【/?	.ている)) 評価結果の	退場と理由	
① 目的妥当性		□ 見直し余地あり		/ 計画机本()/	民茂と生山	
② 有効性	□適切	□ 見直し余地あり				
③ 効率性	□適切	□ 見直し余地あり	₦			
(4) 公平性	□適切	□ 見直し余地あり				
廃止□ 休止□ 事業のやり方改善(□ 現状維持(従来通り	効率性改善) □ 事態で特に改革改善をしない)	□ 事業統廃合・連携 業のやり方改善(公平性で))やり方改善(有	効性改善)	(5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成 維 果 括 低 下 × ×
(0) その他と次評価を	会議で指摘された事項					